

各 位



平成20年2月13日

会社名 小倉クラッチ株式会社
代表者名 代表取締役社長 小倉 康宏
(JASDAQ・コード6408)
問合せ先 常務取締役 河内正美
TEL (0277)54-7101(大代表)

平成20年3月期通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年11月14日の決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期通期連結業績予想値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (19年11月14日発表)	51,000	890	1,160	190
今回修正予想(B)	51,500	420	540	220
増減額(B-A)	500	470	620	410
増減率(%)	1.0	52.8	53.4	-
(ご参考) 前期(19年3月期)実績	50,840	1,210	1,556	816

2. 平成20年3月期通期個別業績予想値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (19年11月14日発表)	36,000	600	740	140
今回修正予想(B)	36,800	400	220	290
増減額(B-A)	800	200	520	430
増減率(%)	2.2	33.3	70.3	-
(ご参考) 前期(19年3月期)実績	36,865	483	782	463

3. 修正の理由

(1)連結業績予想

売上高はほぼ予想通りの見込みですが、最近の為替レートの動向を踏まえ、想定為替レートを1ドル110円から105円に修正したことにより、当社の輸出関連の売上高(粗利額)が120百万円減少する見込みです。当該悪化要因に加え、原材料価格(鋼材、銅線)の高止まり160百万円や輸送機器用クラッチ部門の子会社の生産性低下120百万円などの影響により営業利益は予想を下回り、為替差損175百万円の発生を加味した結果、経常利益も当初予想を下回る見込みです。投資有価証券評価損60百万円の計上により当期純利益も予想を下回る見込みです。

(2)個別業績予想

売上高はほぼ予想通りの見込みですが、最近の為替レートの動向を踏まえ、想定為替レートを1ドル110円から105円に修正したことにより輸出関連の売上高(粗利額)が120百万円減少する見込みです。当該悪化要因に加え、原材料価格(鋼材、銅線)の高止まり160百万円の影響もあり営業利益は予想を下回り、為替差損225百万円の発生を加味した結果、経常利益も当初予想を下回る見込みです。投資有価証券評価損60百万円の計上により当期純利益も予想を下回る見込みです。

以上